



徳島県立中央病院 患者支援センター
770-8539 徳島市蔵本町1丁目10-3
http://www.tph.gr.jp/

電話 088(631)7151
FAX 0120(631)715
mail: chiiki@tph.gr.jp

平成29年度がん患者フォーラム開催報告

平成30年1月13日四国大学交流プラザにて、がん患者フォーラムを開催しました。講師は大阪大学院 大野智先生をお招きし「これ効きますか? ~がん情報の見極め方と向き合い方~」についてご講演いただきました。内容は以下の通りです。

客観的にその治療法に効果があると言うには科学的根拠による裏付けが必要である。科学とは再現性・普遍性が担保されていること、つまり常にそれが誰でも再現できることである。ある治療法が有効であると証明するためには、ランダム化比較試験を複数回行うこと(システマティック・レビュー)が必要となる。ランダム化比較試験とはある疾患を持つ母集団を無作為に新しい治療群と従来の治療群

にわけ、データ分析・効果判定を行うものである。臨床試験の結果には100%治った・治らなかったはなく、ほとんどの医療行為がグレーである。つまり医療とは不確実なものであることを認識しておくことが重要である。

正確な情報を得た上で、その治療を実施するかしないかについては、EBM(Evidence Based Medicine)の視点で考えることが重要である。EBMとは上記の『科学的根拠』に加え、『患者の病状、社会的背景、医療環境』『医療者の技術・経験(専門性)』『患者の好みや価値観』の4つの要素をバランス良く統合し意思決定を行うための行動指針である。

中でも患者の価値観は、主観的なものであり個々違うため、同じ情報提供・同じ治療方法がなされても、それを選択するかは患者によって違う。留意しておくことは、その選択に『正しい』『間違い』はないということと、価値観はその時々により変化することを理解し、下した決断に対し『変更』『取消』の余地を残しておくことが私たち医療者に求められる。

しかし現状、患者側は提示された治療の選択を決めきれないことが多くある。その理由として行動経済学的視点から『選択のパラドックス』と『プロスペクト理論』が影響する。

『選択のパラドックス』とは、選択肢があまりに増えることで人は選べなくなり無力感を感じ、仮に無力感に打ち勝って選択したとしても選択肢が少ない場合に比べて自分が選んだ選択肢に対する満足度が下がるという理論である。

『プロスペクト理論』とは人は『利益』よりも『損失』に対して敏感に反応するというものである。損失に対する価値の重要性は利益に比べ2倍から2.5倍との研究結果があり、人は必ずしも合理的な判断ができるわけではないということである。

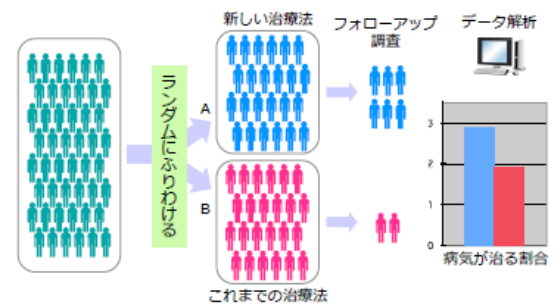
それを踏まえ意思決定の際には、価値観や好みを自分自身に問いかけていくことも必要といえる

以上

参加者の多くは一般市民の方が多くをしめており、役110名のご参加がありました。後半のフリーディスカッションでもフロアから多くのご意見・ご質問が飛び交い、時間が足りないくらいの盛況ぶりでした。

当院は、来年度もがん患者フォーラムの開催を企画していきますので、患者さん・ご家族にお声かけお願いいたします。

ランダム化比較試験とは



大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学専攻附属講座 大野 智

科学的根拠に基づいた医療 Evidence-based medicine (EBM)



大阪大学大学院医学系研究科 統合医療学専攻附属講座 大野 智

Haynes RB, et al. BMJ 2002;324:1300

E-ナース院内研修のお知らせ



① 『患者の声にならない訴えを見る～糖尿病』

講師：吉田 多紀 氏（JCHO大阪病院 糖尿病看護認定看護師）

日時：平成30年2月7日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

② 『症状別フィジカルアセスメントを極める～胸痛』

講師：苑田 裕樹 氏（日本赤十字九州国際看護大学助手）

日時：平成30年2月21日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

③ 『口から食べる幸せをサポートする包括的支援技術』

講師：甲斐 明美 氏（調布東山病院 摂食嚥下障害看護認定看護師）

日時：平成30年3月7日（水）17時40分～18時40分 場所：当院3階 会議室2

* 院外の方も参加可能です。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 患者支援センター 有馬

看護局 専門分野研修会のお知らせ

① 『子どもの呼吸ケア』

担当：小児救急看護認定看護師 諏訪知穂 ・ 新生児集中ケア認定看護師 小川美和

日時：平成30年2月16日（金）17:45～18:45 場所：当院3階 講堂

* 院外の方も参加可能です。事前申込みは必要ありません。

問い合わせ先：088-631-7151 徳島県立中央病院 看護局次長 宮本

FAXによる事前受診予約をご利用ください

当院では、紹介患者さんの待ち時間短縮のため、FAXによる事前受診予約を行っております。また、土曜日のFAX予約受付もしております。

FAX予約のされていない患者さんについては、診療科やその日の予約状況によって、**紹介状をお持ちであっても、来院日当日に受診できない場合もあります**ので、できるだけFAX予約をご利用くださいますようお願いいたします。

* 緊急・救急搬送等の早急な診察の必要性があると思われる患者さんの場合、

FAXと同時に救命救急センターへ御一報下さい。



徳島県立中央病院

TOKUSHIMA PREFECTURAL
CENTRAL HOSPITAL

《報告》

皆様のおかげをもちまして、

平成29年11月

初診紹介 86.2%、逆紹介181.2% でした。

平成29年12月

初診紹介 87.8%、逆紹介193.9% でした。

今後も地域医療連携推進に努めます。何卒よろしくお願ひ申し上げます。